

面談記録の反訳

録音日：2024(R6)0807

反訳者：野村一也

[野村]

あなたと町長は違うでしょう？

[福岡]

変わりますから

[野村]

違いますよ。あなたみたいにな人、初めてですよ。ここまで・・・

[福岡]

私もそうですけども。

[野村]

あんた失礼な人だね。

[福岡]

お互い様で、私が・・・

[野村]

申し訳ないけど、同じことを言っても、言っても、理解しないで、同じことを何回も言わせる人は、僕は初めてだよ、

[福岡]

それは、そう思っていて構いません。

[野村]

それと同じレベルなのかよ、僕は。同じことを・・・

[福岡]

同じって言うレベルなんて、そんなこと言ってないでしょう。

[野村]

「私もです」って、どういう意味だよ。

[福岡]

私も驚いています。

[野村]

何を？

[福岡]

こんなに暴言、言われる人は初めて・・・

[野村]

暴言はさておき、声が大きくなる理由は何ですか？

[福岡]

いや、私のままだったら、そんなに暴言吐いてもいいんですか？

[野村]

えっ？

[警察官]

こんにちは。すみません。

[野村]

聞いてて、聞いてて。

[警察官]

ご主張したいことを聞いたわけではなくて、別室にちょっと移っていただきたいという役場の方のお願いらしいんですね。

[野村]

いやだから、静かに喋るから・・・

[金町長と渡辺総務課長]

喋ってないから、喋ってないから、だから警察官、呼んだんだよ。

[野村]

だから、静かにしてない理由は何なんですか？静かになってない理由は、どこにあるんですか？

[金町長]

そんなの関係ないんだって。

[野村]

あなただって、聞こえてるんだったら、負荷が困ってるんだったら、「ちょっと、こっち来て」と、助け舟を出すのが、上司って者じゃないんでしょうかね。

[渡辺総務課長]

だから（不明）しようって言ったでしょ

[野村]

だから（不明）しようって言ったでしょ

[金町長]

うるさい。うるさい。

[野村]

じゃあ、町長室で対応したらどうなんですか？

[金町長]

なんで、あんたの、そんな・・・

[野村]

あんた？あんた？あんた？

[金町長]

野村さんだ。いいから、役場に・・・あなたは、もう出入り禁止だ。はっきり言って。

[野村]

なんで？

[金町長]

町民に迷惑かけてる。みんなに迷惑かけてんだ、あんたは。

[野村]

出入り禁止？そうゆう権限をもとに行ってます。

[金町長]

迷惑をかけてるから・・・

[野村]

違う。公的な根拠を聞いてるんです。

[金町長]

あなたね、したらね、どうして、あなた、自分の・・・

[野村]

言葉には責任を持ちなさいよ、言葉にはね。

[金町長]

もう頼む、はっきり言って・・・もう・・・

[警察官]

すいません、いいです。

[金町長]

室に行ってくださいって、頼んでる。

[警察官]

・・・お願いされているで・・・

[野村]

町長室に行くよ。

[金町長]

なんて町長室・・・

[野村]

僕は町長に頼まれた書類を持ってきたんです。